

中小企業景気動向調査レポート

(令和5年1月～3月実績、令和5年4月～6月予想)

※調査期間 令和5年3月1日～7日

令和5年4月発行
西尾信用金庫
地域振興部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
380	279	66	209	88	61	1,083

<全体の景況>

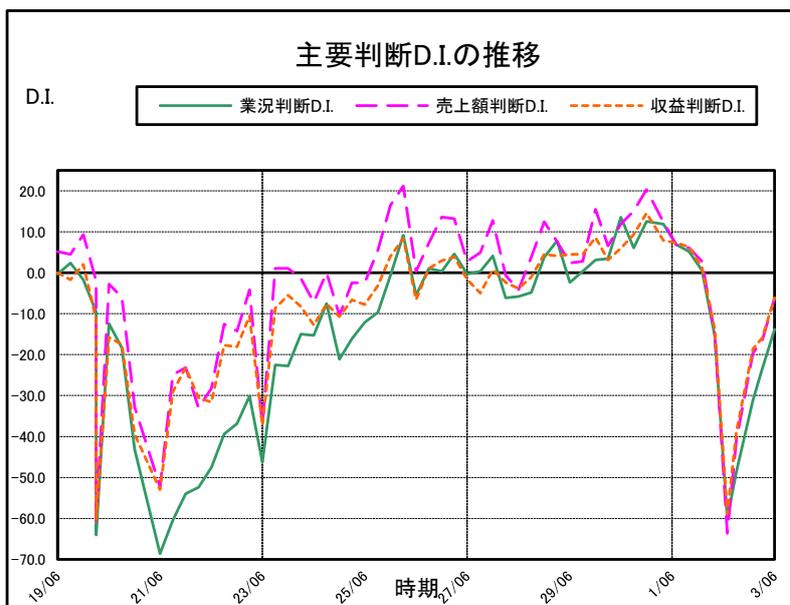
当期業況判断D.I.							
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/12	-12.4	-10.8	-4.5	-1.2	-8.0	-3.3	-8.8
R5/3	-7.9	-5.7	6.1	3.5	-14.8	8.2	-3.2
R5/6	-3.5	-5.0	9.1	0.0	-14.8	6.8	-1.8

当期売上額判断D.I.							
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/12	5.5	3.9	10.6	9.2	3.4	1.6	5.8
R5/3	6.6	6.1	7.6	6.4	-1.1	6.6	6.5
R5/6	5.0	-0.7	4.5	1.7	2.3	1.6	2.5

当期収益判断D.I.							
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R4/12	-6.6	-2.2	3.0	3.5	-8.0	-3.3	-2.6
R5/3	-1.6	3.6	4.5	2.3	-12.5	6.6	1.6
R5/6	1.3	-2.5	1.5	0.6	-10.2	3.3	0.2

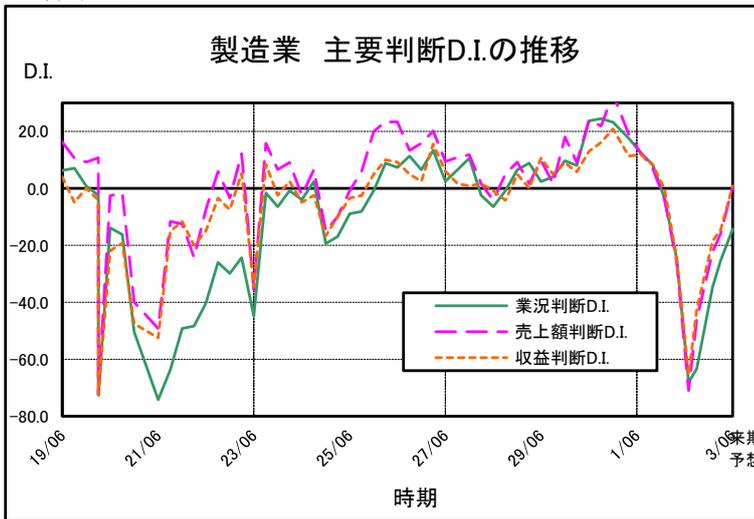
・令和5年3月期の当期業況判断D.I.は▲3.2(前期比+5.6)、当期売上額判断D.I.は6.5(同+0.7)、当期収益判断D.I.は1.6(同+4.2)といずれも改善した。

・来期については、業況判断D.I.は▲1.8(当期比+1.4)、売上額判断D.I.は2.5(同-4.0)、収益判断D.I.は0.2(同-1.4)となった。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

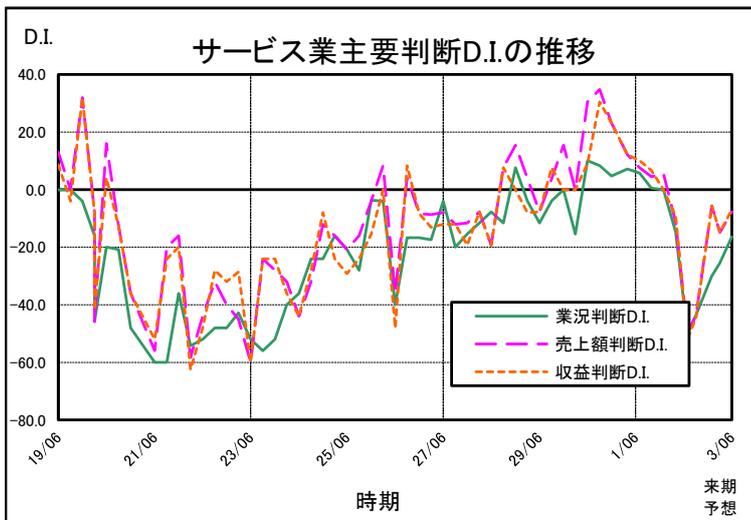
< 業種別 >



業種	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.	
製造業	R4/12	-12.4	5.5	-6.6
	R5/3	-7.9	6.6	-1.6
	R5/6	-3.5	5.0	1.3

< 製造業 >

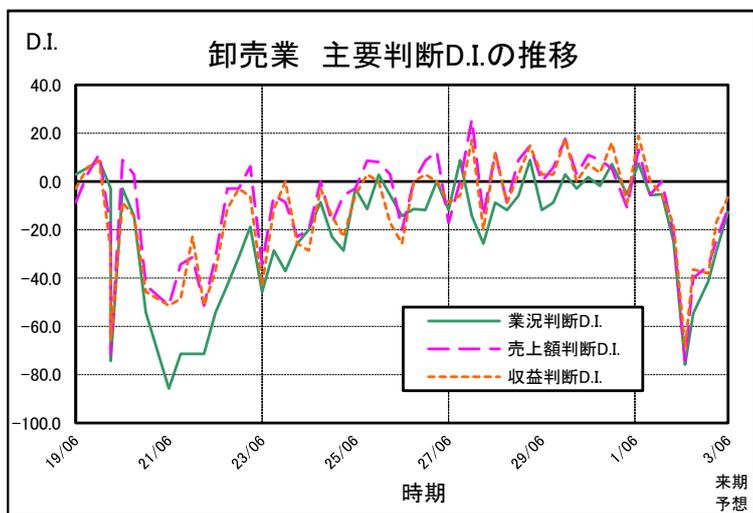
- ・当期業況判断D.I.は▲7.9(前期比+4.5)、当期売上額判断D.I.は6.6(同+1.1)、当期収益判断D.I.は▲1.6(同+5.0)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲3.5(当期比+4.4)、売上額判断D.I.は5.0(同-1.6)、収益判断D.I.は1.3(同+2.9)となった。
- ・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く41.6%、”原材料高”を挙げる企業が36.6%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が21.8%であった。
- ・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く63.7%、“販路を広げる”を挙げる企業が51.8%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が13.2%であった。



業種	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.	
サービス業	R4/12	-10.8	3.9	-2.2
	R5/3	-5.7	6.1	3.6
	R5/6	-5.0	-0.7	-2.5

< サービス業 >

- ・当期業況判断D.I.は▲5.7(前期比+5.1)、当期売上額判断D.I.は6.1(同+2.2)、当期収益判断D.I.は3.6(同+5.8)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲5.0(当期比+0.7)、売上額判断D.I.は▲0.7(同-6.8)、収益判断D.I.は▲2.5(同-6.1)となった。
- ・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”と”大手企業との競争の激化”を挙げる企業が最も多く28.7%、”材料価格の上昇”を挙げる企業が16.1%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が15.8%であった。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く56.3%、次いで”販路を広げる”を挙げる企業が41.6%、そして“宣伝・広告を強化する”および”人材を確保する”を挙げる企業が16.1%であった。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/12	-4.5	10.6	3.0
R5/3	6.1	7.6	4.5
R5/6	9.1	4.5	1.5

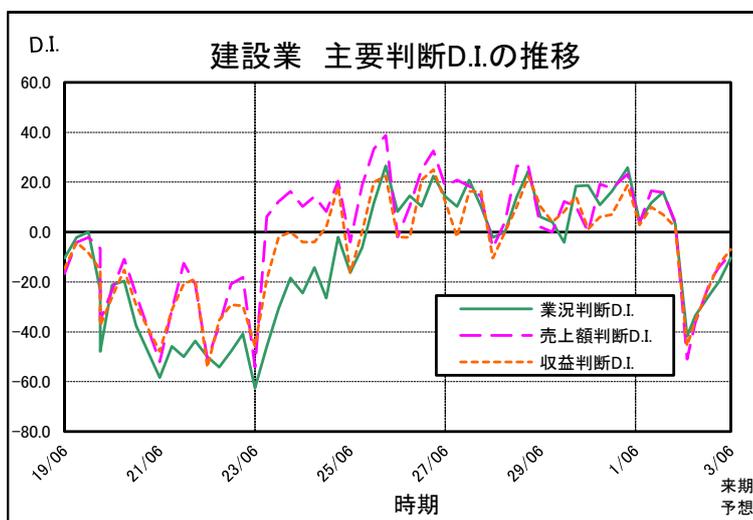
<卸売業>

・当期業況判断D.I.は6.1(前期比+10.6)、当期売上額判断D.I.は7.6(同-3.0)、当期収益判断D.I.は4.5(同+1.5)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は9.1(当期比+3.0)、売上額判断D.I.は4.5(同-3.1)、収益判断D.I.は1.5(同-3.0)となった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く39.4%、”人手不足”を挙げる企業が24.2%、そして”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が21.2%であった。

・当面の重点経営施策としては“販路を拡げる”を挙げる企業が最も多く50.0%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が45.5%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が19.7%であった。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/12	-1.2	9.2	3.5
R5/3	3.5	6.4	2.3
R5/6	0.0	1.7	0.6

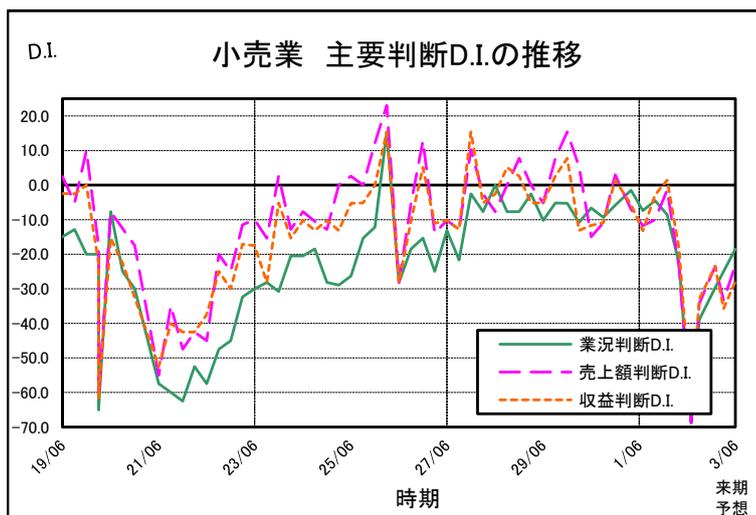
<建設業>

・当期業況判断D.I.は3.5(前期比+4.7)、当期売上額判断D.I.は6.4(同-2.8)、当期収益判断D.I.は2.3(同-1.2)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は0(当期比-3.5)、売上額判断D.I.は1.7(同-4.7)、収益判断D.I.は0.6(同-1.7)といずれも悪化する見通しとなった。

・経営上の問題点として”材料価格の上昇”を挙げる企業が最も多く27.3%、”売上の停滞・減少”を挙げる企業が26.8%、そして”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が23.4%であった。

・当面の重点経営施策として“経費を節減する”と“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く45.5%、次いで“人材を確保する”を挙げる企業が16.7%、そして“情報力を強化する”を挙げる企業が9.6%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/12	-8.0	3.4	-8.0
R5/3	-14.8	-1.1	-12.5
R5/6	-14.8	2.3	-10.2

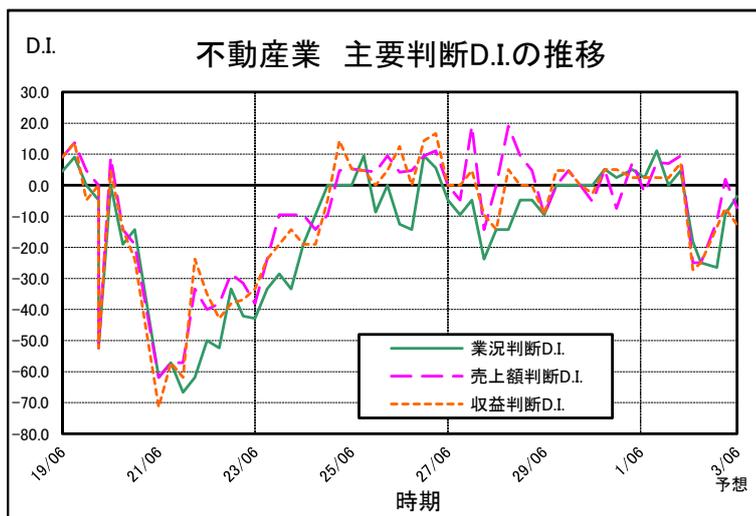
<小売業>

・当期業況判断D.I.は▲14.8(前期比-6.8)、当期売上額判断D.I.は▲1.1(同-4.5)、当期収益判断D.I.は▲12.5(同-4.5)といずれも悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲14.8(当期比±0)、売上額判断D.I.は2.3(同+3.4)、収益判断D.I.は▲10.2(同+2.3)となった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”と”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が最も多く36.4%、”仕入先からの値上げ要請”を挙げる企業が29.5%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が19.3%であった。

・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く62.5%、次いで“品揃えを改善する”を挙げる企業が30.7%、そして“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が22.7%であった。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R4/12	-3.3	1.6	-3.3
R5/3	8.2	6.6	6.6
R5/6	6.8	1.6	3.3

<不動産業>

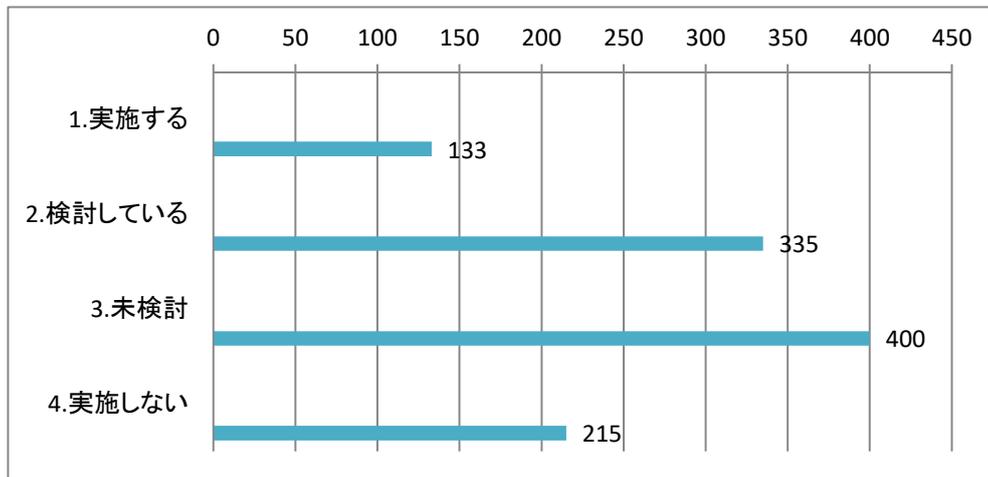
・当期業況判断D.I.は8.2(前期比+11.5)、当期売上額判断D.I.は6.6(同+5.0)、当期収益判断D.I.は6.6(同+9.9)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は6.8(当期比-1.4)、売上額判断D.I.は1.6(同-5.0)、収益判断D.I.は3.3(同-3.3)といずれも悪化する見通しとなった。

・経営上の問題点として”商品物件の不足”を挙げる企業が最も多く23.0%、”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が18.0%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が16.4%であった。

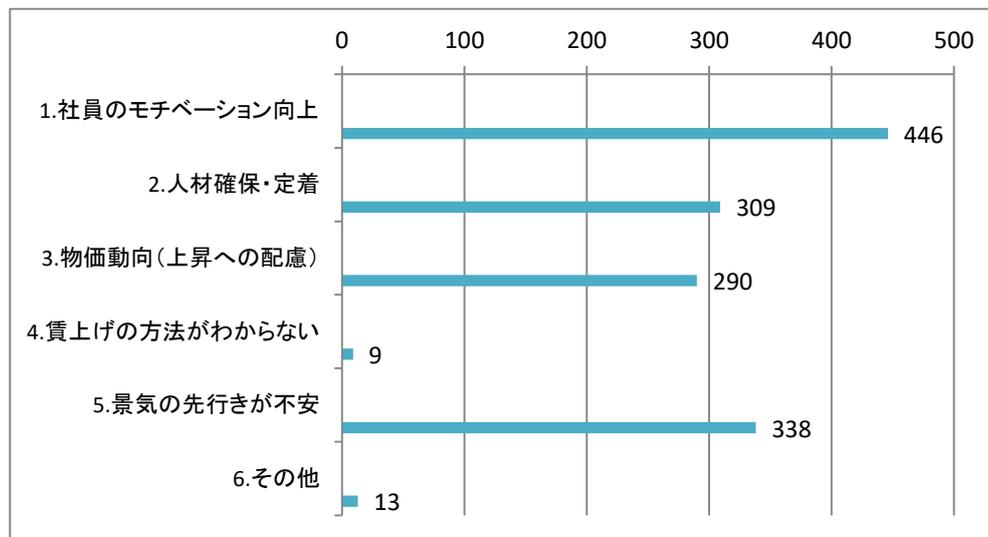
・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く27.9%、次いで“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が24.6%、そして“販路を広げる”を挙げる企業が21.3%であった。

問1 今後、賃上げを実施する予定はありますか。



☞「未検討」が最も多く、「検討している」と続いた。

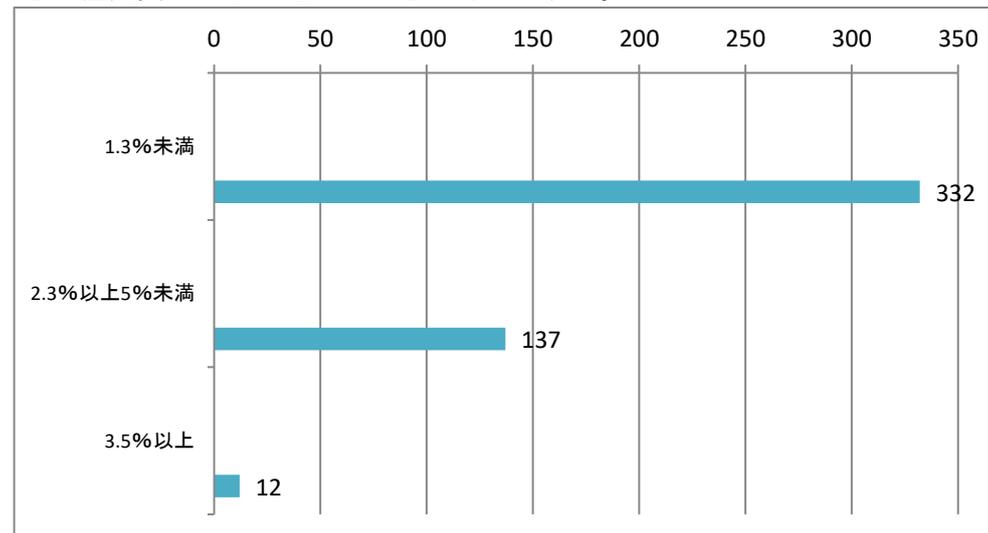
問2 賃上げ実施の目的や課題等をおしえてください。（複数回答可）



☞賃上げの目的としては、「社員のモチベーション向上」が最も多かった

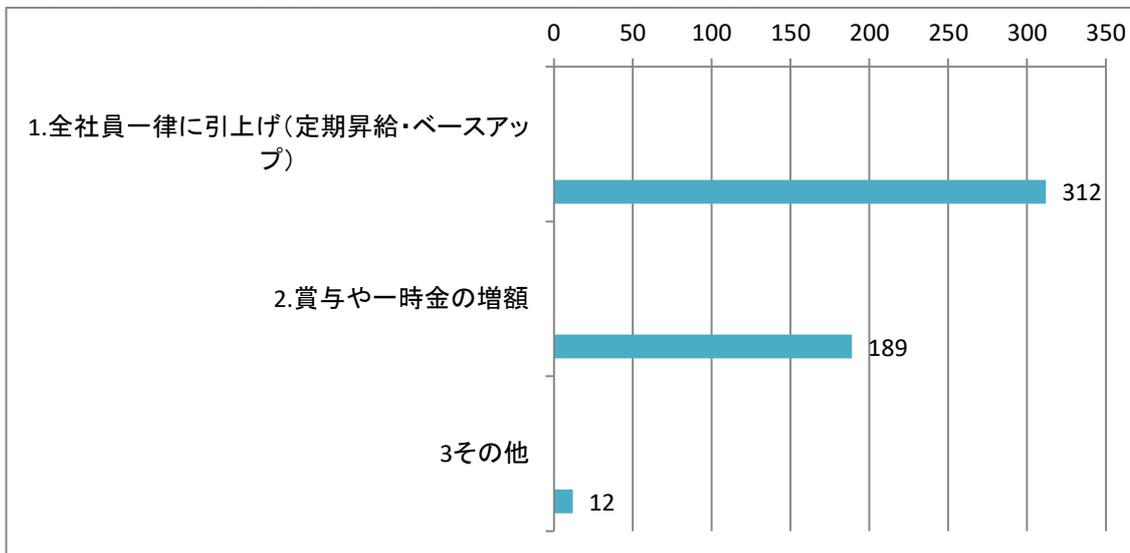
☞賃上げの課題としては、「景気の先行きが不安」が最も多かった

問3 問1で「実施する・検討している（1、2）」と回答した方にお聞きします。どの程度賃上げを実施したいとお考えですか。



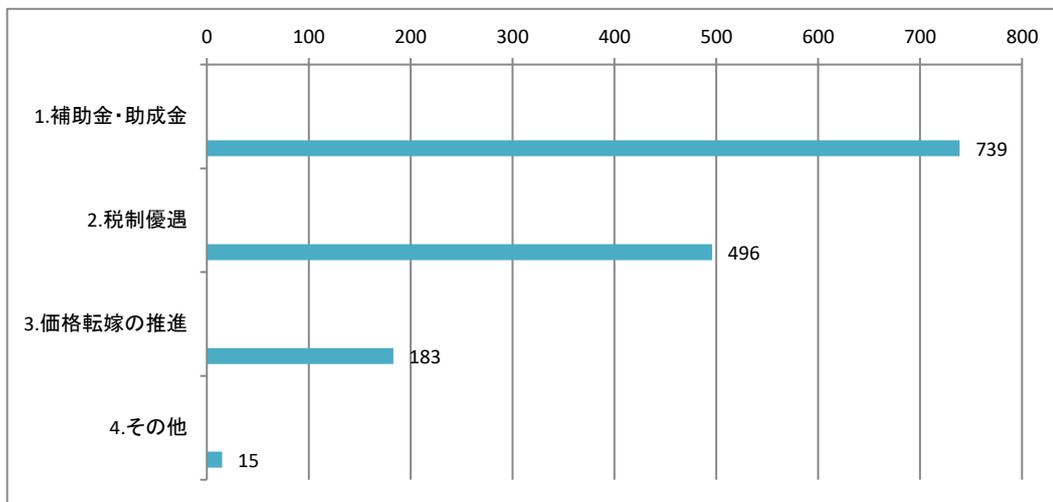
☞「3%未満」が最も多く、「3%以上5%未満」と続いた。

問4. 問1で「実施する・検討している（1、2）」と回答した方にお聞きします。
賃上げはどのような形でおこないますか。（複数回答可）



☛「全社員一律に引上げ(定期昇給・ベースアップ)」が最も多く、「賞与や一時金の増額」と続いた。

問5. 貴社が賃上げを行うために期待・要望する支援策をおしえてください。（複数回答可）



☛「補助金・助成金」が最も多く、「税制優遇」と続いた。